

# 平成27年度「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」 選考結果報告

大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施している大学・研究機関等における若手研究者の調査研究を対象とした助成制度の選考結果は以下の通りです。なお、事務局は特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会が務めました。

## ◆応募状況

平成27年4月15日～5月14日の募集期間において、「大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度」に、24件の応募がありました。

## ◆選考委員会概要

開催日：平成27年6月1日（月） 15：00～16：30

兵庫県民会館 亀の間

委員：大阪湾圏域の海域環境再生・創造に関する研究助成制度選考委員 11名  
(特定非営利活動法人瀬戸内海研究会企画委員)

選考方法：選考委員による事前評価を基にした選考委員会における合議

## ◆選考結果

選考委員会において厳正な審査が行われ、その結果、24件の応募のうち、下表に示す11件の助成研究が、今年度の助成対象として採択されました。

表 助成対象調査研究一覧

(申請者氏名50音順)

申請者氏名	所 属 名	課 題 名
安佛 かおり	京都大学学際融合教育研究推進センター 森里海連環学教育ユニット 研究院	東部瀬戸内海における植物プランクトン群集の基礎生産力とその1960年代からの変化(その3)
宇野 誠一	鹿児島大学水産学部 准教授	大阪湾底質の魚類胚に与える汚染影響リスク評価と今後の底質環境修復のための現状把握(その2)
奥田 哲士	広島大学環境安全センター 助教	沿岸海域において透明度を低下させる原因物質の解明(その2)
小野寺 真一	広島大学大学院総合科学研究科 教授	大阪湾岸流域における下水道由来栄養塩負荷の影響評価(その2)-地下水流入および洪水時フラッシングを考慮した時空間変化の解析-
加 三千宣	愛媛大学沿岸環境科学研究センター 准教授	大阪湾における海洋の温暖化に関する古海洋学的研究
小林 志保	京都大学大学院農学研究科 助教	大阪湾における食物連鎖を支える有機物および微生物群の動態の解明と海域環境の再生・創造に関する研究
佐野 雅基	地方独立行政法人大阪府立環境農林水産 総合研究所 主幹研究員	大阪湾における底魚不漁と環境要因の関係解明に向けた研究(その3) 大阪湾奥部における海底の食物網解析
田中 周平	京都大学大学院地球環境学堂 准教授	大阪湾におけるマイクロプラスチック汚染の現況把握と魚介類への影響に関する研究
中田 聡史	神戸大学大学院海事科学研究科 特命助教	海色衛星観測データを用いた埋立地周辺を含む大阪湾における赤潮動態の解明
中谷 祐介	大阪大学大学院工学研究科 助教	大阪湾沿岸域の地形変化が港域スケール・湾灘スケールの物質循環に及ぼす影響解析(その2)
増田 貴則	鳥取大学大学院工学研究科 准教授	系外からの負荷量・質変動が大阪湾海域の水質と生物基礎生産に与えた影響について-微生物食物連鎖を含む概念型水質生態系モデルを用いた解析-